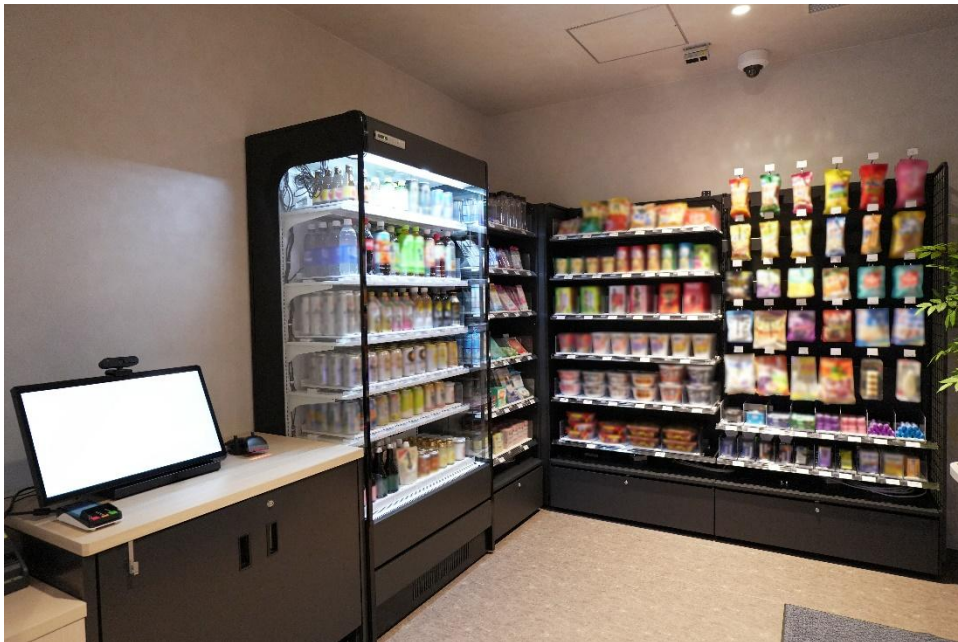


ダイワロイネットホテルズとTTGが連携 ブランド初の無人コンビニを「ダイワロイネットホテル松江駅前」に開設 無人決済システム「TTG-SENSE」を導入

大和ハウスリアルティマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊藤 光博）が2026年8月6日（木）に新規開業する「ダイワロイネットホテル松江駅前」内の無人コンビニエンスストアに、株式会社TOUCH TO GO（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿久津 智紀、以下：TTG）が開発した無人決済システム「TTG-SENSE」を導入します。ダイワロイネットホテルズ初の無人コンビニエンスストアである本店舗では、商品を手に取り決済エリアに立つだけでお買い物が完結する無人決済システムにより、スムーズでストレスのない購買体験を実現します。



■ 今回の取り組みについて

ダイワロイネットホテルズではこれまで、館内での売店機能はテナントとして入居するコンビニエンスストアが担ってきましたが、このたび初の取り組みとして、無人決済システム「TTG-SENSE」を活用した自社運営による無人コンビニエンスストアを導入します。飲料やスナック菓子、日用品などを取り揃え、ホテル館内で手軽に商品を購入できる環境を提供します。

今回導入する「TTG-SENSE」は、天井に設置されたカメラと棚の重量センサーを用いて、手に取った商品をリアルタイムで認識するシステムです。本システムは、商品を手に取って決済エリアに立つだけで、スキャンすることなくタッチパネルに商品と金額が自動で表示され、会計までシームレスに完了します。さらに、ホテルの限られたスペースでもオペレーションを最小限に抑えた効率的な店舗運営が可能となり、利便性向上と快適な購買体験の提供を実現します。

今後は、本取り組みを通じて得られた知見をもとに、ダイワロイネットホテルズの他ホテルへの展開の可能性についても検討します。

■ 無人決済システム「TTG-SENSE」の特長

～商品棚1本から展開可能、多種多様な商品・販売方法に対応している無人店舗～

1. 手に取った瞬間に商品を判別し、商品スキャンが不要なためクイックな購買体験を実現
2. 遠隔監視と遠隔接客による後方支援で、売店担当者の負荷を軽減
3. 電源と小さなスペースがあれば出店できるため、デッドスペースの有効活用が可能
4. 多様な決済手段で支払い手段による機会損失を低減し、売上の最大化に貢献
5. AI分析基盤の活用により、商品を手に取った後、棚に戻した行動も解析可能



■ 大和ハウスリアルティマネジメント株式会社について

会 社 名： 大和ハウスリアルティマネジメント株式会社

代 表 者： 代表取締役社長 伊藤 光博

事業内容： 商業施設・ショッピングセンター・オフィスビルなど商業用不動産の賃貸・管理・運営
都市型ホテルなどの経営

事 業 所： 東京都千代田区神田三崎町3丁目3番21号

設 立： 1986年（昭和61年）1月8日

U R L： <https://www.dh-realty.co.jp/>

■ダイワロイネットホテル松江駅前について

所 在 地： 島根県松江市朝日町590-10

ア ク セ ス： JR山陰本線「松江駅」北口より徒歩約3分

U R L： <https://www.daiwaroynet.jp/matsue-ekimae/>

階数・室数： 地上10階建て・208室

開業予定日： 2026年（令和8年）8月6日

■株式会社TOUCH TO GOについて

会 社 名： 株式会社TOUCH TO GO

代 表 者： 代表取締役社長 阿久津 智紀

事業内容： 無人決済などの省人化システム及びサービスの企画、設計、開発、保守及び販売

事 業 所： 東京都港区高輪2-21-42 TokyoYard Building 8F

設 立： 2019年（令和元年）7月1日

U R L： <https://ttg.co.jp/>